

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	トルコギキョウ(季咲き)12a、トルコギキョウ(抑制)12a、水稻130a
自家労働	2人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次													

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	45	1,134,000	1,134,000	15	75,600	8	529,200	100	21,168
低コストハウス(通)	6×50m	8 棟	14,040,000	50	7,020,000	7,020,000	14	501,429	7	3,510,001	50	70,200
トラクタ	4WD・25ps	1 台	2,870,640	20	574,128	574,128	7	82,018	4	246,055	50	4,921
ロータリ	160cm	1 台	475,200	20	95,040	95,040	7	13,577	4	40,731	50	815
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 式	171,200	50	85,600	85,600	7	12,229	4	36,686	100	1,467
は種機	イージースター	1 台	240,000	50	120,000	120,000	7	17,143	4	51,428	100	2,057
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	233,100	50	116,550	116,550	7	16,650	4	49,950	100	1,998
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	68,780	50	34,390	34,390	7	4,913	4	14,738	100	590
管理機	3.5ps	1 台	197,400	50	98,700	98,700	7	14,100	4	42,300	100	1,692
刈払機		1 台	60,900	8	4,745	4,745	5	949	3	1,898	100	76
軽トラック	4WD、5MT	1 台	105,000	40	42,000	42,000	4	10,500	2	21,000	100	840
合計			22,272,220		10,195,153	10,195,153		873,393		4,916,843		120,738

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
トルコギキョウ	ロジーナシリーズ ボヤージュシリーズ	抑 制	30,000本	水田転換畑	12a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
は 種	5/上	セルレイ(白)288穴 トロミックス350 コート種子	174枚 9袋 50,000粒	人力 冷蔵庫	○セルレイに育苗土を入れる。 ○種子は好光性なので覆土しない。 ○は種後、ポリ袋に密閉し10℃・暗黒 条件で35日間冷蔵。		2	16.0	
出 庫	6/中			人力 軽トラック	○低温庫から出庫後、ハウスで育苗。	0.5	1	1.0 0.5	ガソリン 0.5
育苗管理	6/中～7/中	キッポ青	800ml	灌水ポンプ	○用土が乾燥しないようにかん水。 ○適宜、液肥(追肥)施用 ○寒冷紗利用等により25℃程度で管理。		1	7.0	
定 植 準 備 (土壌消毒) (施肥・耕耘)	5/中	バスアミド微粒剤 古ビニール	30kg	トラクタ ロータリ	○立枯病予防と雑草の発生防止のた め、土壌消毒を行う。	1.0	2	6.0	軽油 4.0
	6/中	堆肥 苦土セカ2号 ミネラル宝素 花複合花子 BMようりん 水酸化マグネシム シルバー寒冷紗	5,000kg 100kg 100kg 150kg 100kg 50kg	トラクタ ロータリ 管理機 人力	○処理後、ガス抜きを兼ねて施肥・ 耕耘する。 ○地温を下げるため、定植1週間前 からシルバー寒冷紗を被覆。 ○畦たてを行う。	2.0	2	16.0 6.0	軽油 8.0
(フラワーネット設置)		フラワーネット (12cm×12cm、8目)	700m	人力 軽トラック	○フラワーネットを設置する。	1.0	2	12.0	ガソリン 1.0
		灌水チューブ	700m	人力 灌水ポンプ	○灌水チューブを設置する。 ○定植前に十分灌水する。	1.0	2	4.0	ガソリン 1.0
定 植	7/中～下			人力	○本葉2.0～2.5対で定植。 ○床幅100cm、株間12cm、条間12cm ○根鉢と土が密着するように定植する。	1.0	2	48.0	ガソリン 1.0
灌 水	7/中～10/下			灌水ポンプ	○定植後2週間は、土壌が乾燥しない ように十分にかん水する。 ○抽苔まで十分にかん水し、その後発 蕾までに徐々にかん水量を減らす。 ○発蕾後は切り花を硬くするため、さ らにかん水量を控える。	22.0	1	11.0	ガソリン 22.0
追 肥	7/中～10/下	トミー液肥		人力 (灌水装置)	○定植後1ヶ月までは、週に1回かん水 に併せて液肥施用。 ○その後、生育状況に応じて適宜施用。	1.0	1	2.0	ガソリン 1.0
葉先枯れ予防	8/上～9/上	カルプラス		動力噴霧機	○抽だい直後から定期的に散布。	1.0	1	2.0	ガソリン 0.5
ネット上げ 芽の整理 摘蕾	8/中～9/上			人力	○生育に応じて丁寧に引き上げる。		2	4.0	
	8/下			人力	○下位部から出たわき芽を除去。		2	16.0	
	9/上			人力	○頂花及び開花が望めない蕾は取り除 き、蕾の先端が揃うように調整。		1	16.0	
保温、換気	9/中～	内張りカーテン		人力	○収穫期は、夜間15℃程度を目安に ハウス管理(保温)する。		1	17.5	
病虫害防除	7/中～10/上	アデオンフロアブル アドマイヤーフロアブル オトルン水和剤 スタークル顆粒水溶剤 トレボン乳剤 ノモルト乳剤 フルピカフロアブル ポリキシンAL水溶剤		動力噴霧機	○アザミウマ、アブラムシの発生に注意 し、適期防除を行う。 ○出蕾期にヨトウムシが多発するので、 適期防除を行う。	8.0	1	10.0	ガソリン 16.0
電 照	7/下～10/下			電照施設	○日没後3時間電照。定植後は蛍光灯、着蕾 後は白熱灯。		2	4.0	電気
収穫・調整	9/下～10/下	ハサミ 輪ゴム		人力	○概ね4輪開花、3～4輪蕾の状態 で収穫。	25.0	2	432.0	ガソリン 55.0
後片づけ	11/上			人力			2	16.0	
合 計									
								651.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	3,150,000	生産量①：30,000本 単価②：105円/本	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	3,150,000		
生産原価	種 苗 費	204,300		
	肥 料 費	61,063	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	53,284	〃	
	諸 材 料 費	173,729	〃	
	動力光熱費	65,203		
	農 具 費	70,152	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	148,950	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	7,727		
	雇 用 労 賃	34,200		
	減価償却費⑤	727,828	別表のとおり	
	土地改良費	3,000		
	支払地代⑥	7,875		
	小計 (B)	1,557,311		
費	販売費一般	出荷資材費	100,564	
	管理費	販 売 諸 費	493,290	
		諸税負担金	2,181	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,667	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	31,640	借入資本利率2%
		小計 (C)	631,342	
経 営 費 (D)	2,188,653	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	828,880	農 従 労 働 時 間： 609.0 生産管理労働時間 28.6 1,300円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	3,017,533	主産物単位当たり 101円/1本 注) (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本	流動資本利子⑨	45,161	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	100,615	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	2,205			
全算入生産費 (H)	3,165,515	生産物単位当たり 106円/1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	961,347	時間当たり 1,508円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	31	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-15,515	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	813,365	時間当たり 1,276円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	132,467	注) (M) = (I) - ⑧		

